

どの子どもも輝き
笑顔いっぱい
とねがわ幼稚園

よい頭・よい躰・強い体

とね幼だより



令和元年 12月

生活発表会 ご参観ありがとうございました

園長 笛木 哲

保護者・祖父母の皆様からは、子ども達の演技が終わるたびに温かな拍手やたくさんの笑顔、また職員へのねぎらいの言葉をいただきました。ありがとうございます。

発表会前日に町民会館で行ったリハーサルを見ているはずなのに、私は一人ひとりが堂々と自信をもって演じる姿、友だちと心をつなげて合唱・合奏する姿を見て、うかつにも涙を流してしまいました。昨年度、恥ずかしくて下を見て衣装を付けられなかった子が、前を見て衣装を身に付け演技しました。昨年の発表会では踊りに集中できず親御さんがご心配になった子が最後まで皆と一緒に踊りました。昨年度は練習さえ嫌がっていた子が、皆のまとめ役になってくれました。お母さんから「うちの子はたくさんの人の前で話すのが苦手なんです。」とお聞きしましたが、当の本人は笑顔で「私がやります。」と答え、見事に責任を果たしてくれました。

でも、生活発表会までの道のりは決して平坦ではありませんでした。役を決めるときの葛藤（なりたい役になれなかった悔しさ、涙、譲り合い…）、表現の難しさからの逃避、恥ずかしさの芽生え、中だるみ…といった多くの壁を子ども達は自ら乗り越えました。そして最後は「今日は練習しないの？」と子どもが自ら練習をしたい、もっと上手になりたい、格好いい姿を大好きなお家の人に見せたいと、意欲をもって取り組んでくれるようになりました。

入園、進級して8ヶ月、成長は子どもによって早い遅いはありますが、昨日よりも今日、今日よりも明日とどの子どもも決して立ち止まらずに成長しています。生活発表会という大きな行事を乗り越えた子ども達です。きっと、新たな目標に向かってもっともっと素敵な姿を見せてくれることでしょう。ますますその子らしさを輝かせてくれることでしょう。

今後ご家庭と幼稚園が手を携え、同じ気持ちで子どもよりよき成長を支えていきたいと思えます。そして、次の新しい子どもとの出会いをお楽しみになさってください。



子どものことば

小学生も会場内を走り回らずに鑑賞してくれました。ありがとう。

○先週の月曜日の朝。髪の毛を切って登園してきた子に「髪の毛を切ってきたんだね。格好良くなったね。」と伝えると、「そうだよ。生活発表会の時イケメンにならなくちゃいけないからね。」と笑顔で答えてくれました。確かに君はイケメンだ！

園児が輝く時

※毎日、HP「園長ブログ」で「その日の写真」を掲載しています。よろしかったらご覧ください。

		
<p>挨拶・返事・靴そろえ・よい姿勢 幼稚園では、「挨拶」「返事」「靴そろえ」「よい姿勢」が身につくよう1年を通して取り組んでいます。諦めず繰り返すことが大事です。</p>	<p>秋の味覚①「柿」 柿の木にはほんのり黄色く色づいた実を見つけ「もう食べられる?」「まだまだだよ」と。我慢して待ったら食べ頃に熟しました。</p>	<p>秋の味覚②「さつまいも」 子ども達が幼稚園に隣接する畑で育てたさつまいもを収穫し、焼き芋にして食べました。「美味しい!」「お代わりちょうだい!」</p>
		
<p>生活発表会を終えて① 生活発表会で披露した演技を絵に表すことを通して、1ヶ月以上の取り組みを振り返りました。自慢できる自分を見つけました。</p>	<p>生活発表会を終えて② 生活発表会で披露した曲を流すと子ども達が集まってきます。他のクラスの踊りをしっかり見ているので上手に踊ることができます。</p>	<p>川島町農業商工祭で表彰 利根川康平理事長が、商工祭(11/23)において、長年幼児教育に携わってきた業績をたたえられ表彰されました。</p>

保護者の皆様からいただいたご意見から

・駐車場について

駐車場で談話している保護者の方や、駐車場でお子さんの手を離して自由にさせている保護者の方を見かけます。子どもは大人が思いもしない突発的な行動にでることもあり、お子さんから目を離しての談話や手を離して自由にさせることは事故の原因にもなりますので厳にお控えください。

・生活発表会の「喜びの声」について

経費節約等の観点から、本年度より「喜びの声」をいただく機会は、運動会のみとしました。

そのうちに

まもなく令和元年が終わろうとしています。「そのうち お金がたまったら。そのうち 家を建てたら。そのうち 子育てから手が離れたら。そのうち 仕事が落ち着いたら。そのうち 時間のゆとりができたなら。そのうち…」とできない理由を繰り返しているうちに、結局、何もやらなかったことがどれだけあったことでしょうか。

もうすぐ令和2年(2020年)です。「そのうちに」とできない理由を探すのではなく、来年こそは一人ひとりの夢や家族の夢を実現するために何かを初めてみたらどうでしょう。時間は待つてはくれません。可愛い盛りの子どもの成長も。